

●三位一体後第五主日

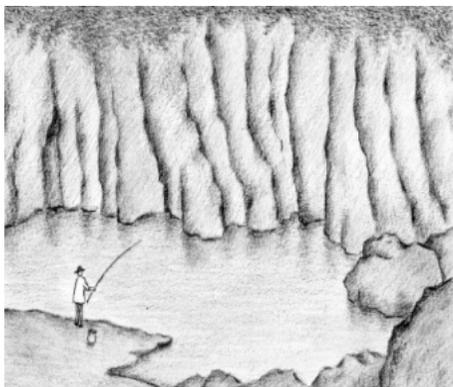
泉のほとり

今月の詩編「第百十一編」

主を畏れることは知恵の初め。

これを行う人はすぐれた思慮を得る。

主の賛美は永遠に続く。



神と共に歩んだので

人が生まれ、この地上を生き、最後には死を迎える。中国秦の始皇帝は死を恐れ、不死の方法に執着するように探し続けたとの話もありますが、彼も死に、彼が死んでから2000年以上が経ち、どの時代よりも医学が発達した今でも、そのような方法は未だに見つかっていません。

世界銀行によりすると、世界の人口は2023年基準で80億人を超えたと知らされています。今この地上を足で踏んでいるすべての人が、例外なく死ぬのです。それは人類の歴史が始まって以来、続いているものです。

しかし、「人が死ぬ」、人生にそれ以外の結末はない、それは本当でしょうか。「人の死」というのは、もともと本来の人には常識でもなく、「死」は「辞書」にさえもないような非現実的なものでした。

創世記5章は「アダムの系図」と始められています。そして「神が人を創造された日、神に似せて人を造られ、男と女に創造され、彼らを祝福して『人』と名付けられた」と記しています。

神が人を創造された時、人に「死」というものはありませんでした。創世記5章は本来、人には「死」もなく「悲しみ」もなく「労苦」もなく、神のふところの憩い、祝福された者であった、その時のことを思い起こしているのです。

しかし、その事実とは対照的に「アダムの系図」と始まり、記される系図の特徴は「そして死んだ」「そして死んだ」「そして死んだ」という言葉の繰り返しです。人の中に罪が入り込み、人はもはや以前のような神の尊い似姿を映すものでなくなり、それゆえに神は人に「死」をお定めになったのです。

「アダムの系図」はアダム、セト、エノシユ、ケナン、マハラルエル、イエレド、一人一人の実名をあげながら、「そして死んだ」と続く人の死の歴史の始まりを記しています。その中で、一人だけ「そして死んだ」という記録で終わらない人がいます。エノクです。「エノクは65歳になったとき、メトシエラをもうけた。エノクは、メトシエラが生まれた後、300

年神と共に歩み、息子や娘をもうけた。エノクは365年生きた。エノクは神と共に歩み、神が取られたのでいなくなった」と。エノクだけが「死」を経験しなかったのです。

人の罪ゆえに人の「死」を定められたのは「神」であられます。人が「死ぬ」ということに誰も逆らえませんが、このエノクに関しては死を見させられなかったのです。「神と共に歩んだので」とあることに、神に似せて造られた本来の人の死のない、神にあつての人の本来のあり方を見るのです。

時は速いです。人は徐々に衰えていき、「死」という時を迎えます。この短い生涯、何を成し遂げたいのでしょうか。いかなる偉業を達成し、偉大な名と知らされたとしても、「そして死んだ」と記されるのではないのでしょうか。

エノクが「神と共に歩んだ」と記されたのは、彼は罪から救われ、「死」を超えた者として、永遠にその名が生きている者として記されたことを証しています。

私たちが生まれたところ、私たちが住むところ、私たちが帰るところ。神が人を創造された日、人には罪などなく、死もなく、神に似せて造られた人は神と共に歩んだ。それが私たちの、人の本来の住処で、人は神と共に歩んでいた本来のところへ帰らなければなりません。

罪ゆえに「そして死んだ」となる、人の死を定められた「義なる神」は、御子を代償に、救われようのない人が再び「死のない」生きる道をお示しになりました。神はこのキリストを通して、人が「そして死んだ」で終わらず、甦りの命にあずかり、本来の私が私となり、人が人としての命に満たされて生きる道を開いてくださいました。

時は短く、時は速いです。体の衰えも例外を許さずやってくる。その時、思い起こしましょう。自分の限られた時を。私を造られた神を。その神に立ち返り、神と共に歩むことこそ、人を人とし、私を私とする命であることを。

(創世記五章一〜二四節黄允湜牧師)

2025年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○ 定例役員会をカナシールームで行います。役員の方はお集まりください。

○ 二六日(土)～三〇日(水)まで台湾の高雄新興教会にて、コイノニアキャンプが行われます。スケジュールの概略を下記に掲載します。キャンプのために祈りください。

○ 八月に夏季バイブルスクールを予定しています。日程は左記の通りです。

八月四日(月)二〇時～二五時

一九時～二二時

八月五日(火)一九時～二二時

二一日(月) 一〇時～一五時

※ 四日一〇時～一五時の内容と四日夜、五日夜は同じ内容です。

内容の詳細は、次週お知らせします。

《教育奉仕委員会より》

主日礼拝後、一二時より地下ホールで、コイノニアキャンプ参加者の壮行会を行います。

《ぶどうの会より》

壮行会の後、第二・三シオンルームでぶどうの会を行います。

《コイノニアキャンプ スケジュール》

・二六日(土)

一〇時五〇分 羽田空港発

一三時三〇分 台北松山空港着

台北松山空港から高雄へ移動

開会礼拝、歓迎会

・二七日(日)

主日礼拝

教会見学、各教会の最新報告

高雄観光

・二八日(月)

台南の太平洋教会へ移動

台南神学校見学

中台湾観光

・二九日(火)

中台湾の愛蘭教会見学

ユースキャンプ見学

閉会礼拝

・三〇日(水)

台北松山空港へ移動

一六時二〇分 松山空港発

二〇時〇五分 羽田空港着

《交読詩篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇百十一篇】

ハレルヤ。

わたしは心を尽くして主に感謝をささげる

正しい人々の集い、会衆の中で。

主の御業は大きく

それを愛する人は皆、それを尋ね求める。

主の成し遂げられることは栄え輝き

恵みの御業は永遠に続く。

主は驚くべき御業を記念するよう定められた。

主は恵み深く憐れみに富み

主を畏れる人に糧を与え

契約をどこしえに御心に留め

御業の力を御自分の民に示し

諸国の嗣業を御自分の民にお与えになる。

御手の業はまことの裁き

主の命令はすべて真実

世々限りなく堅固に

まことをもって、まっすぐに行われる。

主は御自分の民に贖いを送り

契約をどこしえのものと定められた。

御名は畏れ敬うべき聖なる御名。

〔司・会〕

主を畏れることは知恵の初め。

これを行う人はすぐれた思慮を得る。

主の賛美は永遠に続く。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「神を恐れ、正しいことを行う人はみな」

聖書 使徒10章1〜16節

説教者 宮間彰広兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「イエス・キリストを受け入れる」

聖書 使徒13章42〜52節

説教者 宮間彰広兄

●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讚美歌 19番 532番

説教 「自分を尊敬できて嬉しい」

聖書 箴言20章27節

説教者 北川一明牧師

（日本基督教団平塚教会）





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 72番 294番
説教 「立ち上がり、歩きなさい」
聖書 使徒3章1～10節(新約 P.217)
司式 山下 純一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 吉村 和雄 名誉牧師

前奏曲「神は全てを善くなし給うた」
(カンタータ35番よりアルトのARIA) J.S.バッハ

○讃美歌72番

- 1.われ信ず 三つなる ひとりの神を
げに御子ひととぞなりしもみとむ
- 2.十字架に死にたる ひとをばあおぎ
わが身のよこしま ほろぼしつくす
- 3.ひかりといのちと ちからをたまう
聖なるきみをば ひたすらあいす
- 4.あいするゆえにぞ こよなくあがむ
主の建てたまひし 教会と教義を
- 5.ときわにたたえよ 天使とともに
父 み子 みたまの 天地のかみよ

アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

○聖歌隊による讃美

「主は歌わせたもう」 M.シャープ作曲
心にひとつメロディー 主が与えられた
恐れることはない 私が共にいる
心の痛みに主が 触れてくださるまで
歌は枯れていた だが私にまた
新たな歌が ほめ歌が響いた
主イエス わが主よ
歌与え導き 共に歩まれる
主の愛の豊かさは 安らぎを与え
御顔のほほえみ 力をくださる
主イエス わが主よ 御名をたたえます
主イエス わが主は
歌与え導き 共に歩まれる
深い水の底にも 険しい道行くときも
共におられる約束
我ら信じ歩もう どこまでも
主イエス わが主よ 御名をたたえます
主イエス わが主よ 行く道を導き
歌を与え 歩ませたまえ

○讃美歌294番

- 1.みめぐみゆたけき 主の手にひかれて
この世の旅路を あゆむぞうれしき ※
(くりかえし)
たえなるみめぐみ 日に日にうけつつ
みあとをゆくこそ こよなきさちあれ
- 2.さびしき野べにも にぎわう里にも
主ともにいまして われをぞちびく ※
- 3.けわしき山路も おぐらき谷間も
主の手にすがりて やすく過ぎまし ※
- 4.世の旅はてなば 死のかわなみをも
恐れず越えゆかん みたすけたのみて ※

聖餐曲「ここに主イエスを」 D.ウット

後奏曲「おおみ神をほめまつれ」 L.レーン